

わたしのまちの健康プロフィール

作成日:平成28年4月 作成:大分県東部保健所

1. 管内の概要



	総人口	世帯数	高齢化率
大分県	1,164,703	498,661	30.4%
別府市	120,869	56,129	32.0%
杵築市	30,034	12,170	35.0%
日出町	27,938	11,020	28.6%
国東市	28,965	12,523	40.4%
姫島村	1,975	901	45.3%
管内計	209,781	92,743	33.2%

資料:大分県統計調査課「大分県の推計人口」
 (平成27年10月1日現在)

■東部保健所

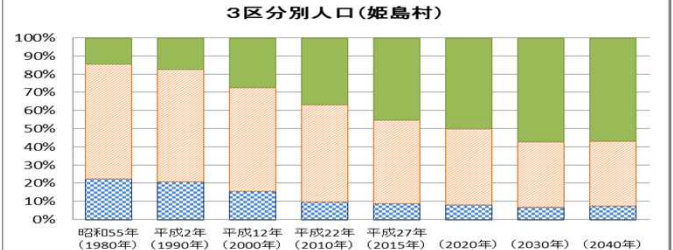
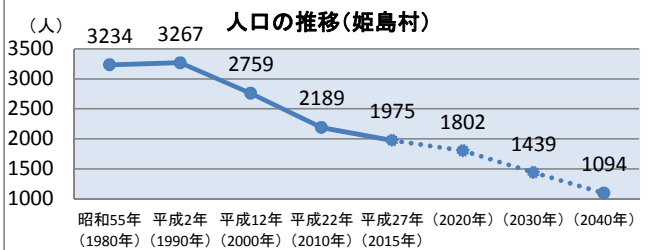
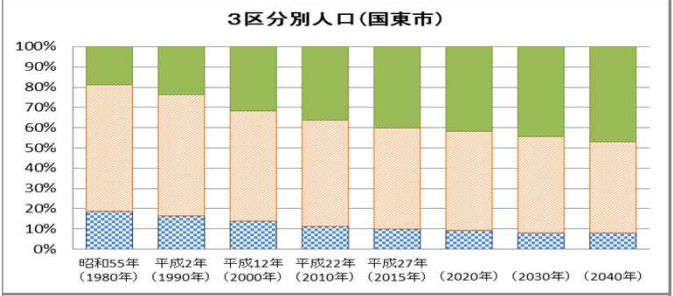
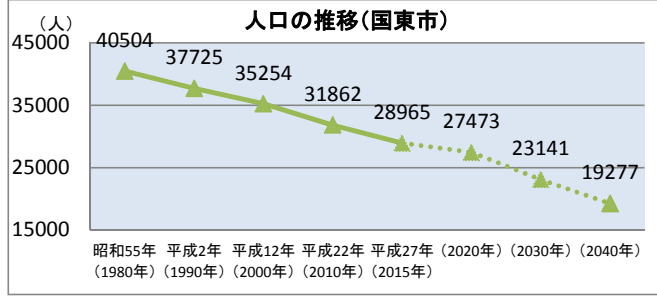
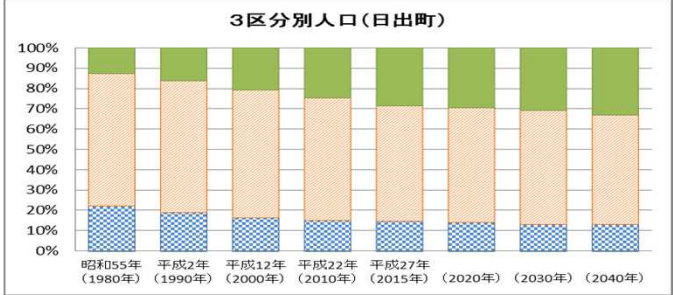
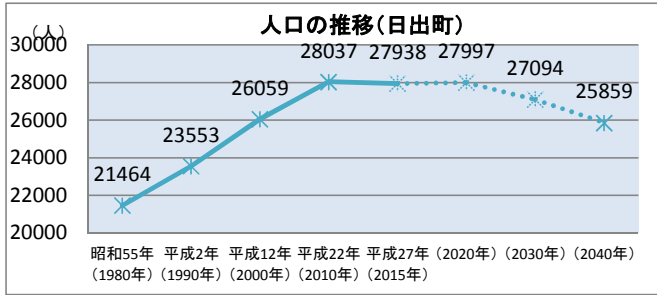
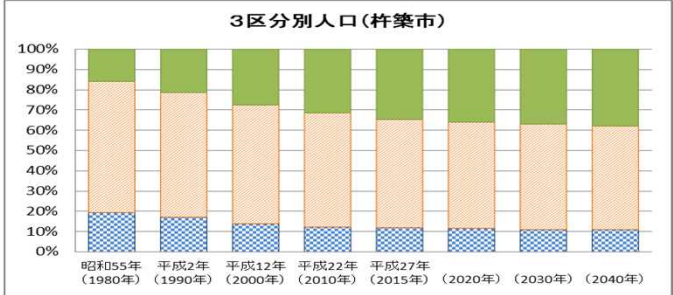
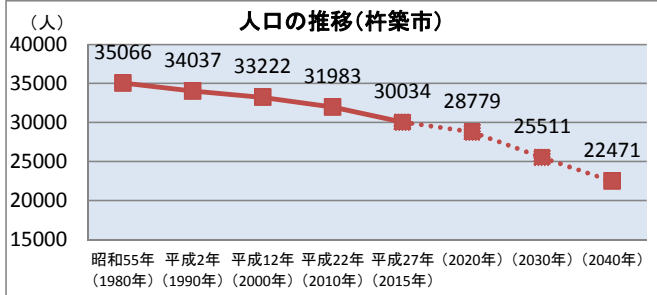
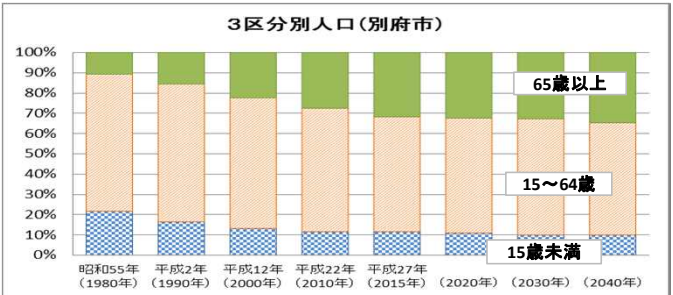
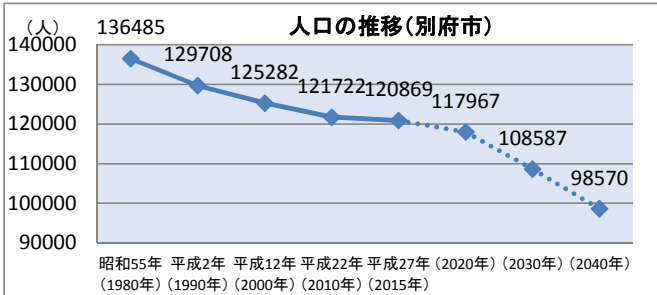
〒874-0840
 別府市大字鶴見字下田井14-1
 電話:0977-67-2511 / FAX :0977-67-2512

■地域福祉室

〒879-1506
 日出町字仁王山3531-24 (日出総合庁舎内)
 電話:0977-72-2327 / FAX :0977-72-2367

■国東保健部

〒873-0504
 国東市国東町安国寺786-1(国東総合庁舎内)
 電話:0978-72-1127 / FAX :0978-72-3073

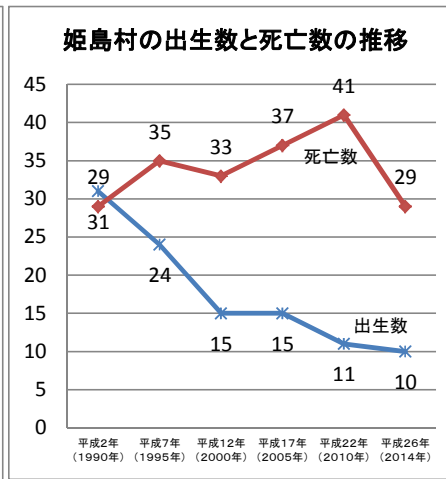
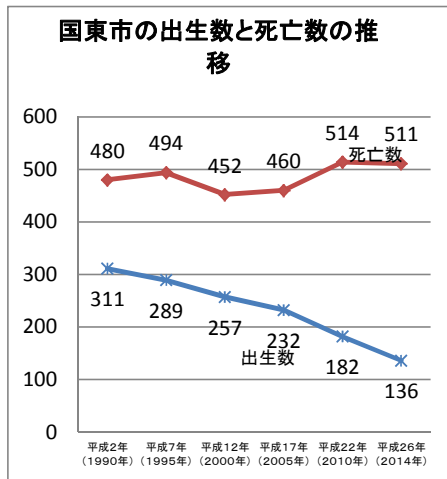
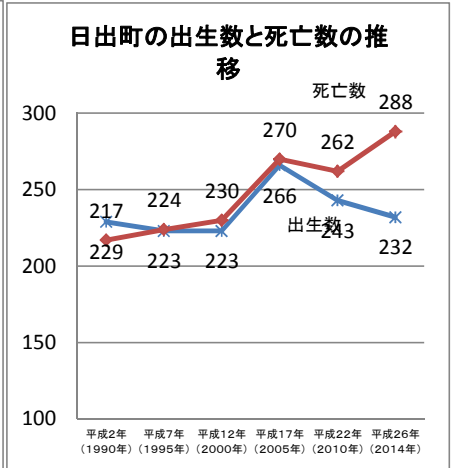
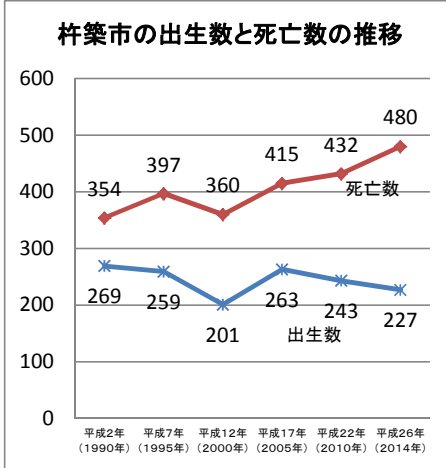
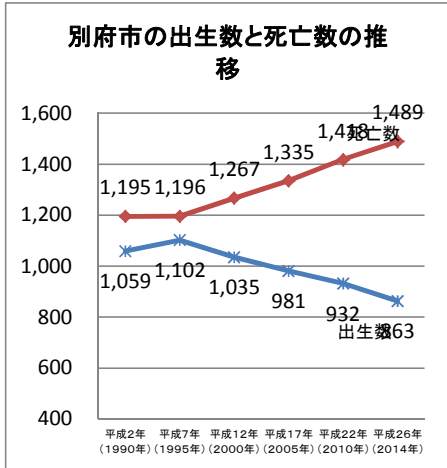


資料:大分県統計調査課「大分県の人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

3. 人口動態

出典：厚生労働省「H26 人口動態統計」

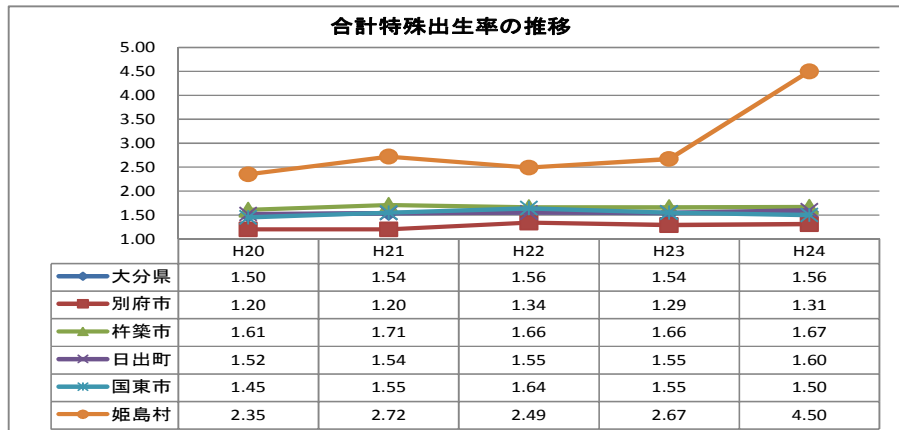
	出生			合計特殊出生率	死亡	
	実数	率 〔人口千対〕	(再掲) 2,500g 未満の児		実数	率 〔人口千対〕
大分県	9,279	8.0	798	1.57	14,065	12.1
別府市	863	7.3	66	1.31	1,489	12.6
杵築市	227	7.5	33	1.67	480	15.9
日出町	232	8.3	18	1.60	288	10.3
国東市	136	4.6	12	1.50	511	17.3
姫島村	10	5.0	1	4.50	29	14.5



日出町は、人口千人あたりの出生率が県に比べて高く、人口千人あたりの死亡率は県に比べて低くなっています。しかしながら、出生数と死亡数の推移を見ると、各市町村とも死亡が出生を上回っており、人口の自然減の状況が続いています。



(1) 出生の状況(合計特殊出生率)



(グラフを見るとききの留意点)
市町村の合計特殊出生率は、出生数の少なさに起因する偶然性の影響のため、数値が不安定となる問題があります。そこで、5年間(H24=H22~26)の平均として算出することにより、地域間の比較が可能な指標としています。しかしながら、出生数が年間100人を下回るような小地域においてはなお、偶発的要因により、極端な数値が現れることがあります。

資料：大分県福祉保健企画課

合計特殊出生率とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年時の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの平均の子ども数です。現在の人口を維持するには、2.07以上の数値を保つことが必要とされます。

※合計特殊出生率は、出産年齢の変化によって推計値が短期的に変わることがある。
例えば、女性が生涯に生む子どもの数が変わっていない状況で、晩婚化が進み、出産年齢が高く変化している場合、合計特殊出生率が一次的に過少に推計される場合がある。

(2)死亡の状況

◆主要死因別死亡率(人口10万対)

(平成26年)

	大分県	管内	別府市	杵築市	日出町	国東市	姫島村
総数	1,209.4	1,323.2	1,264.4	1,588.8	1,034.7	1,733.2	1,447.1
悪性新生物	329.8	355.3	364.3	384.0	323.4	349.4	648.7
糖尿病	11.2	8.5	9.3	9.9	14.4	0.0	0.0
高血圧性疾患	7.4	13.7	10.2	13.2	28.7	17.0	0.0
心疾患	176.8	192.5	165.6	251.6	161.7	298.5	149.7
脳血管疾患	110.2	124.4	118.0	139.0	104.2	169.6	149.7
肺炎	124.0	123.0	120.6	139.0	46.7	210.3	49.9
慢性閉塞性肺疾患	19.6	27.9	34.8	29.8	7.2	23.7	0.0
喘息	1.5	2.8	3.4	3.3	0.0	3.4	0.0
肝疾患	12.8	11.8	10.2	19.9	18.0	6.8	0.0
腎不全	24.3	30.3	35.7	36.4	14.4	23.7	0.0
老衰	63.0	53.5	40.8	79.4	50.3	91.6	0.0
不慮の事故	41.6	47.8	51.0	16.1	18.0	40.7	49.9
自殺	17.6	15.1	17.8	19.9	3.6	13.6	0.0

＜人口10万対死亡率 上位5疾患＞

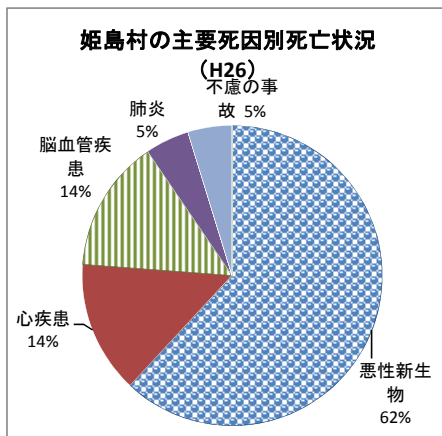
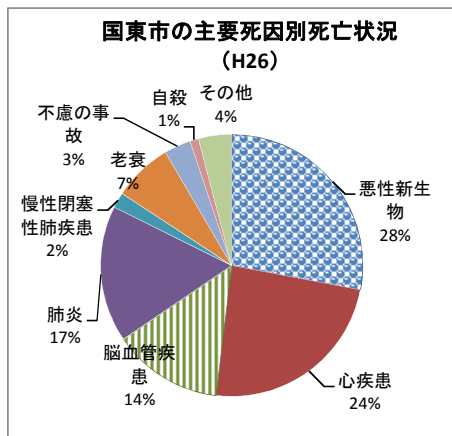
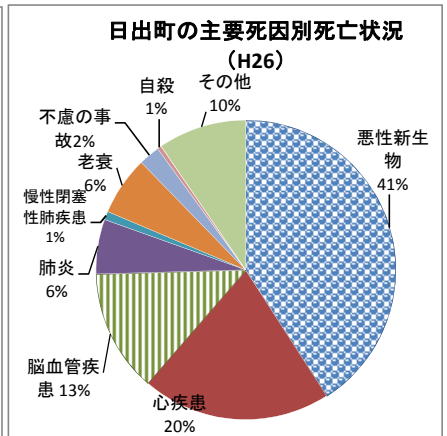
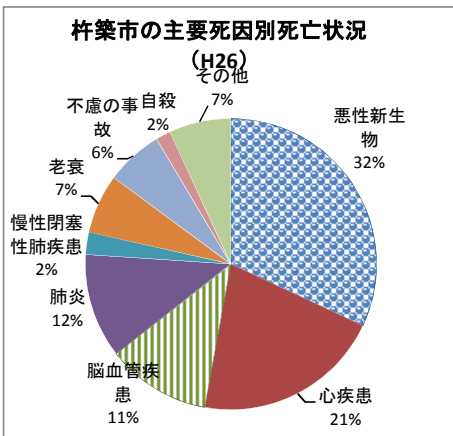
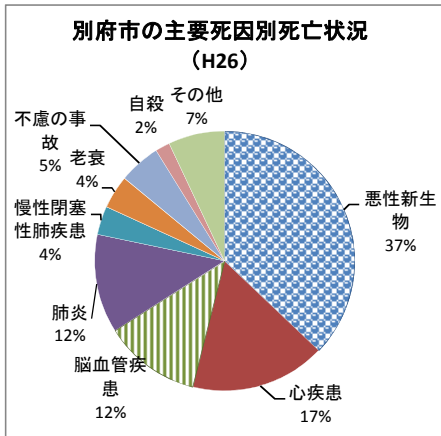
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
大分県	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰
別府市	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	不慮の事故
杵築市	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰
日出町	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	老衰	肺炎
国東市	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患	老衰
姫島村	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故

※杵築市は、肺炎と脳血管疾患が3位

※姫島村は、肺炎と不慮の事故が4位

上位5疾患の死亡率(人口10万対)は、管内市町村はいずれも1位が悪性新生物、2位は心疾患となっています。
全国的にみると、がんと心疾患は上昇、肺炎は平成23年に脳血管疾患を抜いて第3位に、脳血管疾患は低下傾向となっています。

＜管内市町村の主要死因別死亡状況＞



資料：平成26年人口動態都道府県標準結果（福祉保健部）

◆標準化死亡比(SMR)

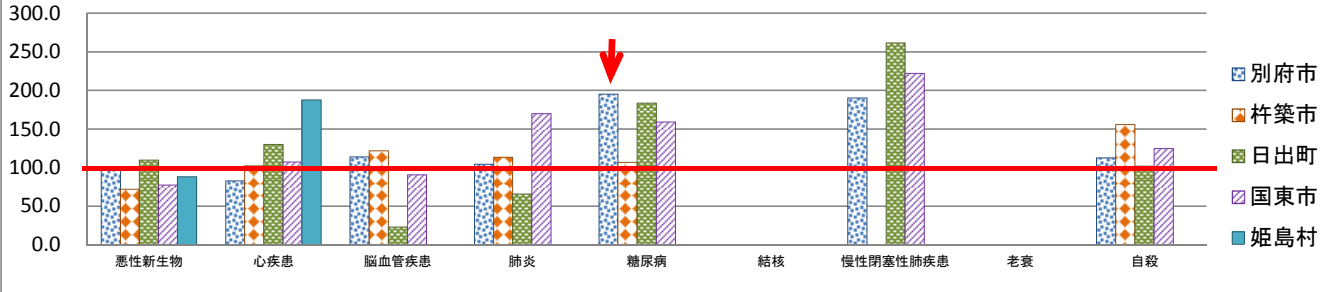
「標準化死亡比」とは

人口規模や年齢構成の差を調整した死亡状況の指標です。主に小地域の比較に用いられ、全国を100(基準値)として、100より大きい値はその地域の死亡状況は全国より悪く、100より小さい値は全国より良いということを意味します。

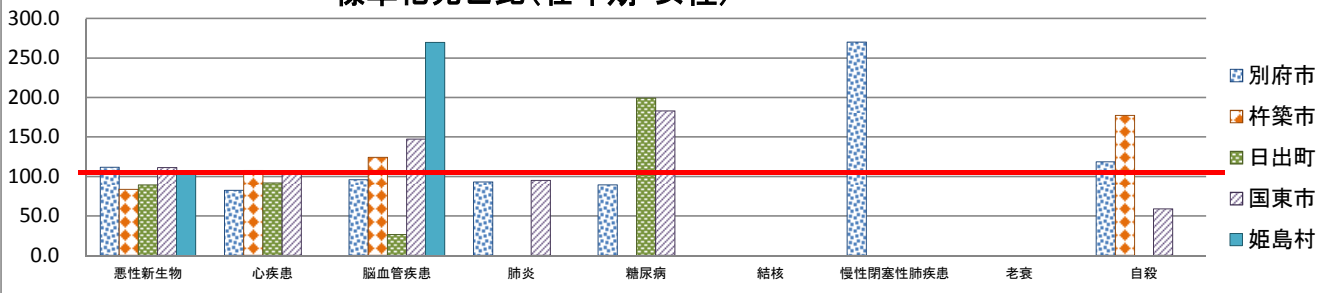
※ ↓ : 有意差のある自治体

壮年期(40~64歳)

標準化死亡比(壮年期・男性)

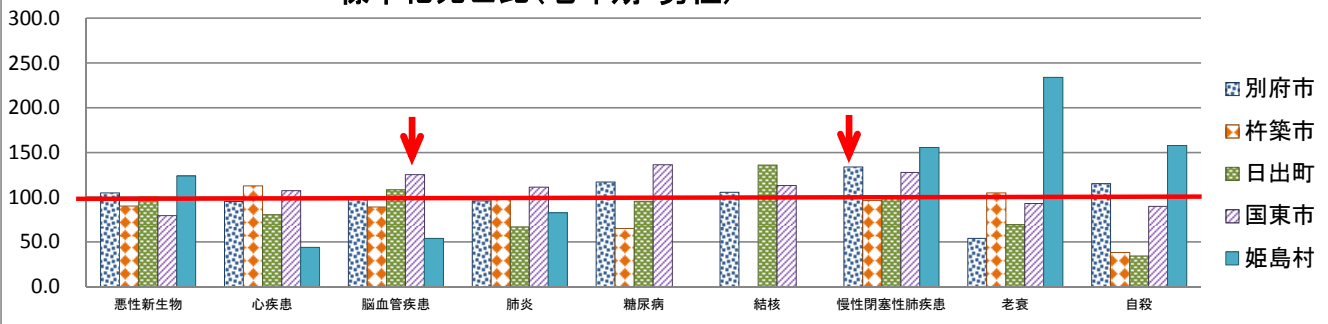


標準化死亡比(壮年期・女性)

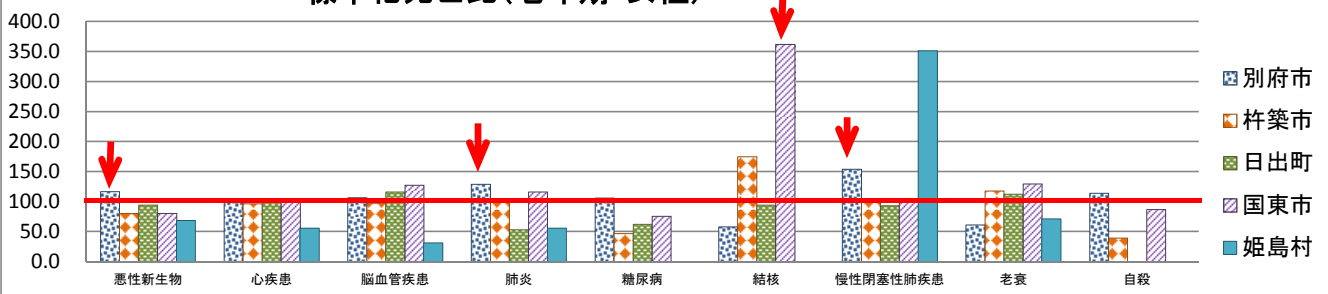


老年期(65歳~)

標準化死亡比(老年期・男性)



標準化死亡比(老年期・女性)



資料:大分県健康指標計算システム(福祉保健企画課)H22~26年統計



壮年期においては、
別府市の男性で
糖尿病による死亡が
有意に高くなっています。

老年期においては、
別府市の男性で慢性閉塞性肺疾患、
国東市の男性で脳血管疾患が、
別府市の女性で悪性新生物、肺炎、脳血管疾患
国東市の女性で結核による死亡が
有意に高くなっています。



4. 平均寿命・お達者年齢

「平均寿命」

0歳の子どもの何年生きられるかを示すものであり、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出(※1)し、毎年公表(※2)しています。

「健康寿命」

健康で過ごせる期間を示したものです。

国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果をもとに、「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。

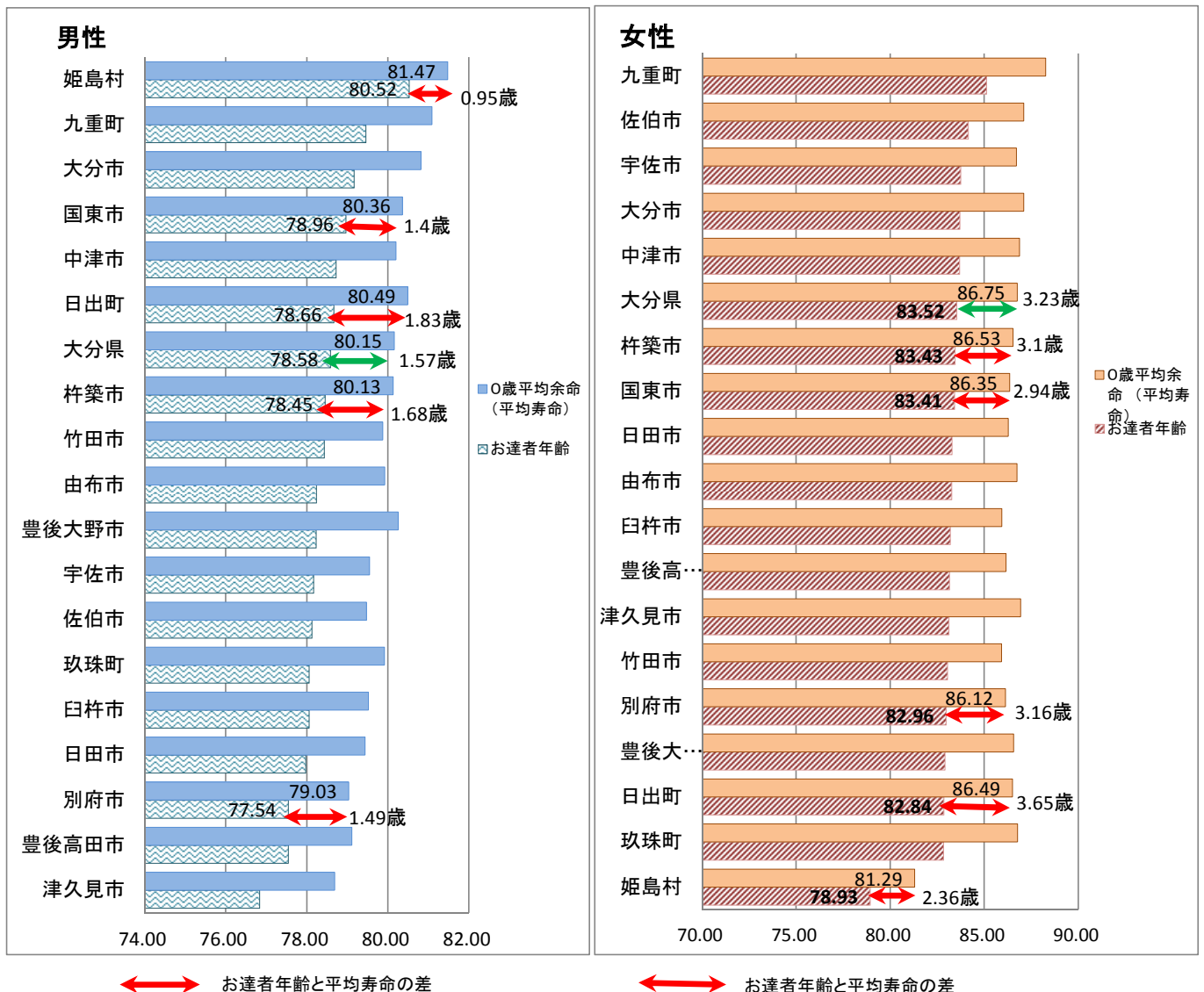
「お達者年齢」

大分県内で市町村比較ができるよう、大分県で独自に算出している指標で、介護保険の要介護1までを健康、要介護2以上を不健康として算出します。

平均寿命とお達者年齢の差は、健康でない期間を意味するので、この期間をなるべく短くすることが必要です。

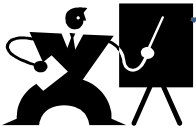
なお、市町村では人口規模が小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として「お達者年齢」(※3)を大分県が毎年公表(※2)しています。

<お達者年齢ランキング>



- ◇男性では、姫島村が平均寿命、お達者年齢ともに県下で最も長く、お達者年齢と平均寿命の差は最も短くなっています。
 - ◇女性のお達者年齢は、管内全ての市町村で県平均より短くなっています。また、お達者年齢と平均寿命の差は、4つの市村で県平均より短くなっています。
 - ◇管内の平均寿命とお達者年齢の差をみると、男性では約0.95～1.83歳、女性では2.94～3.65歳と、女性のほうが約2歳長くなっています。
- ※大分県では、生活習慣病の予防及び社会生活を営むための必要な機能の維持、向上、健やかな暮らしを支える良好な社会環境の構築等により、健康寿命を延伸することを目指しています。健康寿命(お達者年齢)と平均寿命の差を短縮するためには、若い頃からの健康的な生活習慣や高齢者の介護予防が大切です。

5. 東部保健所・国東保健部・地域福祉室での取組



東部保健所、国東保健部、地域福祉室では、地域に出向いて様々な取組を実施しています。

～東部保健所の取組み～

- ◇**保育園児、幼稚園児を対象に、別府溝部学園短期大学幼児教育学科の学生(「手洗い男子」、「手洗い女子」)と合同で、手洗い教室(対象8施設、募集期間6月)**を実施しています。
手洗いは食中毒や感染症予防の基本です。幼少期から正しい衛生習慣を身につけることは、健康的な生活を送る上で大切なことです。
- ◇**中小企業にお勤めの働き盛りの方を対象に健康づくりのサポート**を実施しています。
健康づくりに役立つ情報の提供や職場に出向いての研修会などを行っています。
職場ぐるみでの健康づくり等お気軽にご相談ください。
- ◇**教育現場で行う薬育授業の支援**を実施しています。
学校において「薬の適正使用」や「副作用の発生リスク」、「危険ドラッグ」などについて学ぶ薬育授業に関して、関係機関の調整(講師の選定など)を行います。
対象は小学校(高学年)から高等学校までです。
本年度は、支援地域を昨年度の別府・杵築・日出から国東・姫島まで拡大します。
お気軽にご相談ください。

～国東保健部の取組み～

- ◇**高齢者サロンで、結核、感染症、食中毒についての健康講話**を実施しています。
国東市には「国東市元気高齢者健やかサロン」が184団体(H27年度末)あり、介護予防の中核を担っています。
結核患者さんには高齢の方が多く、地域の偏見がまだまだ多いので高齢者が集まるこのサロンで講話をしています。



～地域福祉室の取組み～

- ◇**ユニバーサル社会の第一歩である“他者を思いやる気持ち”の大切さを理解してもらうため、小・中学生を対象に「ユニバーサルデザイン出前授業」**を実施しています。

《内容》

- * 職員によるユニバーサルデザインの説明
- * 外部講師による講話(体験談)
- * UD文房具の体験

